

第46回（2026年）
児童図書館員養成専門講座募集要項

●目的 公共図書館の児童サービスの現場で中心的役割を果たし、指導者・助言者として活躍できる人を養成する。

●期日

前期 2026年6月23日(火)～6月28日(日) [6日間]

後期 2026年9月28日(月)～10月7日(水) [9日間] 10月3日(土)は休み

●会場：主に日本図書館協会

6/25 東京子ども図書館、9/29 東京都立多摩図書館、9/30 国立国会図書館国際子ども図書館（予定）

●応募資格：上記の目的に適う、次の条件を満たす人。

(1) 司書有資格者であること。

(2) 公共図書館職員として5年間以上の経験を持つこと。

(3) 公共図書館の児童サービス担当を2年間以上経験していること。

*なお、全日程を受講すること。

●募集人数：16名程度

●応募方法

(1) 本人の略歴：所定の受講申込書に、氏名、フリガナ、年齢、勤務先（連絡先）所在地、現在の雇用形態および職名、司書資格取得方法および年月日、公共図書館員としての職歴、図書館員としての経験年数および児童サービス担当経験年数等を記載する。【受講申込書（Excel）は児童青少年委員会HPよりダウンロード】

(2) 課題① 「児童図書館員養成専門講座受講を必要とする理由」について、1,300字から1,400字（A4用紙1ページ以内・縦置き横書き、課題名・氏名はヘッダーに記入）にまとめること。

課題② 以下に掲げる課題図書を読み、その中の一文一箇所を引用しながら、実際のサービスにどのように活かせるのか、1,300字から1,400字（A4用紙1ページ以内・縦置き横書き、課題名・氏名はヘッダーに記入）に、感想をまとめること。

『児童図書館への道』ハリエット G. ロング著 友野玲子訳 日本図書館協会

（字数不足あるいは字数超過は減点対象となるので注意すること）

上記(1)、(2)を4月14日(火)（当日17:00必着）までに、裏面メールアドレスの「日本図書館協会児童図書館員養成専門講座係」宛に、件名を「第46回養成講座応募」としたメールの添付ファイル（受講申込書はExcel、課題はWordのみ可）にて送ること。ファイル名はそれぞれ“「受講申込書」（名前）”“「課題1（または2）」（名前）”とすること

※課題の提出および講座期間中の資料送付は、原則としてメール添付で行います。

複数の添付ファイルが受信できるメールアドレスを用意してください。

●受講者決定通知：5月中旬に本人宛に通知する。

受講者の決定は、児童青少年委員会の書類審査による。受講決定後、必読図書と各科の課題を通知する（課題未提出の場合、受講資格はないものとする）。

●参加費：6万円（日本図書館協会個人会員または施設会員は1名につき4万円）

●修了証：全日程を受講した者に修了証を発行

●主催：公益社団法人日本図書館協会

●共催：国立国会図書館国際子ども図書館（9月30日）

●後援：全国公共図書館協議会

第46回(2026年)児童図書館員養成専門講座カリキュラム(予定)

前期日程：2026年6月23日～6月28日

| | | 午 前 (9:30～12:30) | 午 後 (1:30～4:30) |
|-------|---|--|---|
| 6月23日 | 火 | | 開講式 島 弘 (児童青少年委員会委員長) |
| 24日 | 水 | 児童資料(1) 絵本 | 石井光恵 (元：日本女子大学) |
| 25日 | 木 | 児童図書館員の仕事 おはなし・ブックトークの実演／見学 | 張替恵子 (東京子ども図書館) 東京子ども図書館 |
| 26日 | 金 | 児童サービスの実際(1) 科学あそび 坂口美佳子 (科学読物研究会) | 児童資料(2) 科学の本一見方と選び方 市川雅子 (豊島区立中央図書館、科学読物研究会) |
| 27日 | 土 | 児童サービスの実際(2) 多文化サービス 阿部治子 (日本図書館協会多文化サービス委員会) | 脳科学から見た子どもの読書の重要性 酒井邦嘉 (東京大学) |
| 28日 | 日 | 児童サービスの運営・年間計画 | 二井治美 (草津市立図書館) |

*会場：6月25日(木)は東京子ども図書館 (現地集合・解散) 【予定】

後期日程：2026年9月28日～10月7日

【10月3日(土)は休み】

| | | | |
|-------|---|--|----------------------------------|
| 9月28日 | 月 | 児童サービスの実際(3) 電子書籍 沖野雄一 (世田谷区立中央図書館) | 読書バリアフリー 野口武悟 (専修大学) |
| 29日 | 火 | 児童サービスの実際(4) レファレンス | 浅沼さゆ子 (東京都立多摩図書館) |
| 30日 | 水 | 児童資料(3) 日本の児童文学 国立国会図書館国際子ども図書館 見学 | 宮川健郎 (大阪国際児童文学振興財団) |
| 10月1日 | 木 | 児童サービスの実際(5) 選書・蔵書構成 杉岡和弘 (佛教大学、神戸女子大学、京都華頂大学非常勤講師) | |
| 2日 | 金 | 児童サービスの実際(6) 乳幼児サービス | 島本まり子 (浦安市教育委員会) |
| 3日 | 土 | 休み | |
| 4日 | 日 | 児童資料(4) 外国の児童文学 | 早川敦子 (津田塾大学) |
| 5日 | 月 | 児童サービスの実際(7) ストーリーテリング | 清水千秋 (東京子ども図書館) |
| 6日 | 火 | 児童サービスの実際(8) ブックトーク | 杉山きく子 (元東京都立多摩図書館) |
| 7日 | 水 | 児童図書の編集・出版 矢作春奈 (偕成社) | 研修の自己評価とまとめ 島 弘 (児童青少年委員会委員長) |

*会場：9月29日(火)は東京都立多摩図書館 (現地集合・解散) 【予定】

9月30日(水)は国立国会図書館国際子ども図書館 (現地集合・解散) 【予定】

連絡・問合・申込先：日本図書館協会 児童図書館員養成専門講座事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

☎03-3523-0811

E-mail : jidou@jla.or.jp